

炎暑の候 厳しい暑さ続く丸山ダム

月刊丸山ダム

2024年
7月号

発行所
美濃市内自宅
発行者
丸山ダム愛好家
佳(よっしー)

2024年7月27日撮影

夏の暑さが厳しくなってきた丸山ダム地方。工事が進む新丸山ダム工事現場にも、容赦なく夏の太陽が照りつけています。陽射しを遮る場所が少ないダムの周辺、熱中症に気を付けて思う存分ダムを満喫しましょう。新丸山ダムの工事も進んでおり、見どころ満載！スゴイです！

新丸山ダム環境に配慮した素敵な工事
6月26日 東京で日本ダム協会設立50周年記念シンポジウムが開催され、環境に優しい新丸山ダム工事を紹介する機会をいただきました。新丸山ダム工事事務所&大林・大本・市川JVに全面協力してもらい無事、紹介することができました。規模の大きな新丸山ダム建設で、たくさんの環境配慮技術や先進技術が取り入れられていることを知ることができとても勉強になりました。これから工事現場を見るときは、そんなところにも注目していきたいと感じた編集長です。ますます目が離せません！

環境に優しい新丸山ダム工事 事例紹介①

ハイブリッド重機の導入

重機が車体を旋回してスピードを落としていときに生じるエネルギー
↓
電気モーターを使って電気エネルギーに変換
↓
重機がエンジンを加速させるときに補助エネルギーとして蓄電された電気エネルギーを使用

燃料消費量 約27%削減！ CO₂排出量削減！

令和6年2月2日 国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所発表資料より

環境に優しい新丸山ダム工事 事例紹介②

天然ガス由来のクリーンな軽油代替燃料を使用

環境負荷の少ない天然ガス由来のクリーンな軽油代替燃料を使用
※石油由来の製品と同等の性能

ダムの建設現場で使用する建設重機や発電機などの燃料に使用し周辺環境への影響を抑制

対軽油比CO₂排出量8.5%削減！

令和6年2月2日 国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所発表資料より

環境に優しい新丸山ダム工事 事例紹介③

仮設備工事に「低炭素型」のコンクリートを使用

コンクリート製造時に大量のCO₂を発生させるセメントの配合割合を大幅に抑え、鉄鋼の製造過程でできる副産物の高炉スラグ微粉末などを使用した環境に優しいグリーンコンクリートを仮設備工事に使用！

通常コンクリート比CO₂排出量80%削減！
CO₂削減量約2,800t・約1,500人/年の排出量に相当

令和6年2月2日 国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所発表資料より

環境に優しい新丸山ダム工事 事例紹介④

燃焼促進剤による排出ガスの削減

添加することで排出ガス削減効果がある新技術を燃焼促進剤・原石山の全ダンプに導入
軽油に添加すると燃費が向上し10tダンプの場合

CO₂ 35.7%削減！
Nox 13.5%削減！
PM 41.1%削減！

大林・大本・市川特定建設工事共同企業体発表資料より



ケーブルクレーンに
新たなフック取付
先月号で取り上げた、新丸山ダム建設のため造られたケーブルクレーンに2本目のフックが取り付けられました。右岸の支柱から左岸の走行路を動くと思われる扇型のケーブルクレーン。黄色と橙色に塗り分けられ活躍の時を待っているようです。配色が足羽川ダム建設のケーブルクレーンと同じなのが気になります。クレーン業者が同じなのでしょうか？